



「いじめが許されない理由」

心とからだのアンケート実施中

先月末より、校内において、本校の『いじめ防止基本方針』に基づき、児童一人一人にアンケートを実施し、早期発見・未然防止の取組を行っています。下の事柄は表題に係る思いです。ご家庭での話材にして頂ければ嬉しいです。（折を見て、全校児童にも発信します）

1、言葉やしてしまったことは消せない

◆どんな言い訳もできません。自分の言った事やした事が相手を傷つける武器にもなることを覚えておこう。

2、本人は「やめて」が言えない

◆他の人が気付いてあげることが大切。その人の気持ちを分かってあげようとする優しい声掛けをしよう。

3、違いを認めよう

◆人には違いがあり、違いがあるからこそ良い。違いを認め合い、良さを見つけ合い、伝え合いましょう。

4、周りから「やめよう」の行動をしよう

◆「やめよう」を言うには勇気がいりますが、友達と一緒に、また、先生やお家の人の力を借りてでも言いましょう。見て見ぬ振りをすることはいじめと同じです。だから、いじめがなくなるのです。

5、いじめは巡る

◆お風呂の中でお湯を浴槽の縁に押し出すと必ず自分にもどって来ます。いじめもそれと同じ。相手にした事は後に自分に返って来ます。このことは宇宙の法則と同じで、必ずと言っていい程、間違いないです。

6、これっていじめ

◆いじめかどうかは、いじめられたと感じた本人が決めること。また、『自分の気持ちは言わないと相手に伝わらない』『相手の気持ちは聞かないと分からない。』（『以心伝心』とはいかない時代になっています）

7、人に役立つことをしよう

◆人に自分の存在を認めて欲しいなら、からかいやちょっかいをかけるのではなく、役に立つことをしよう。

「のびゆくこども」について

《スケジュール・内容等のお知らせ》

「のびゆくこども」は、子供達の学校での学習の様子や生活の様子をお知らせし、学校と家庭が協力して、学力の向上と共に心逞しく育てるための手がかりとするものです。子供達の頑張りと努力を認め、今後の取組への励ましのために作成いたします。以下の1～5につきまして、保護者（当該学年の保護者）の皆様へ、ご理解、ご了承して頂きたいことを述べさせていただきます。ご理解をなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

1. 「のびゆくこども」は、7月、12月、3月の学期末に配付し、学期はじめ（始業式の日）の学校への返却を不要としています。各学期分をご家庭で保管ください。
2. 「所見」の記入は、3学期のみとします。終業式（修了式）の日に「のびゆくこども」を児童に手渡す際に、担任から児童に、頑張った所や伸ばして欲しい所を伝えます。今年度もこの方法で児童に手渡します。
3. 特に3年生保護者の方に・・・本校では、『学習の様子』に関して1、2年生は、「できました」「がんばろう」の2段階評価。3年生以上は、「よくできました」「できました」「がんばろう」の3段階評価です。そして、3段階評価の中の「できました」は、学習目標に到達していることを示しています。よって、保護者の皆様には、単純に○の数や場所で、2年生時より成績が下がったと解釈をされないようお願いいたします。お渡りする「のびゆくこども」の裏面にもこれに関する説明の欄を設けていますのでよくお読みください。
4. 1年生の保護者の方に・・・1学期にお渡しする「のびゆくこども」は、「生活の様子」の評価のみとなります。「各教科の学習」の評価を付けてお渡しするのは2学期からとなります。お知りおきください。
5. 今年度、評価規準の一覧表は配付いたしません。

連絡 & お願い

◎梅雨明けが待ち遠しい中ですが猛暑日もあります。朝の挨拶運動の際に気付くことは帽子を着用していない児童が沢山いること。この時期（9月末迄）は熱中症予防のためにも出来る限り、登下校、休み時間は着帽して欲しいです。（怪我の防止にもつながります）